

牙 X1500

取付け・取扱い説明書／保証書

この度は、自動車用盗難警報装置キバ（X1500）をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び、取扱い手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みの上、ご使用ください。尚、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は、車体への衝撃や人の侵入を感知し警告を行う装置です。車上ねらい、車両盗難等への防犯効果は多大ですが、防止機ではありません。また、なんらかの手段で盗難警報装置を解除し車両に被害を与える場合も想定されます。本製品の作動の有無にかかわらず車両盗難、車上ねらい、車両へのイタズラ等が発生しなくても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

ご使用上の注意	2	セキュリティオートスタート機能	12
梱包内容	3	セキュリティオートスタートのしかた	12
各部の名称	3	セキュリティオートスタート設定を解除する場合	13
取付け	4	警報について	14
取付け前準備	4	W センサー	16
充電について	7	振動センサー	16
セラミックスピーカーの取付け	8	空気圧センサー	17
リモコンの使用方法	9	リモコン警報音の設定方法	18
リモコンのご使用前に	9	ローバッテリーサイン機能	19
セキュリティスタートさせる	10	ID コードの再登録及び追加登録	20
セキュリティストップさせる	11	その他	21
警報音を停止させる	11	オプションについて	21
		仕様	22

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。又、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為、誤った取扱いをすると、生じる恐れのある内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を被る可能性があります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

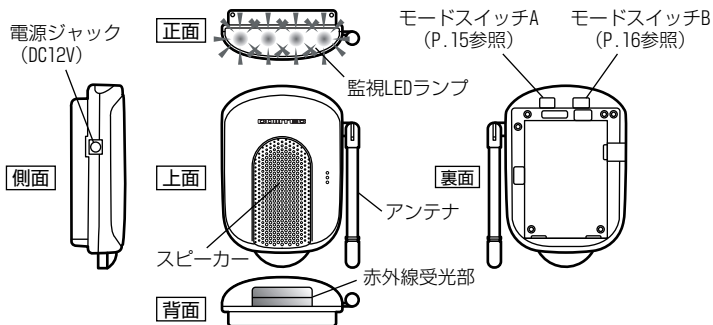
⚠ 注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、ヒューズ・電池等の消耗品は、保証の対象になりません）
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- リモコンに電池を入れる時、ネジにあったプラスドライバーが必要になります。
- 12V車のみ使用可能です。24V車には使用できませんのでご注意ください。
- エンジンをOFFにしてもシガーライターソケットに常時電源が供給されている車の場合、エンジン停止している時はシガーライターソケットから付属のシガーコードを抜いてください。バッテリー上がりの原因になります。又、本製品をスタートする前には付属のシガーコードを抜いてください。（シガープラグをシガーライターソケットに差込んだ状態だとリモコンが作動しません。）
※シガーソケットの無い車や、エンジンを停止してもシガーソケット電圧がOVにならない車はオプションSS-063「電源配線ユニット」を使用して車両の配線に直接接続することができます。
- 指定の電池以外は使用しないでください。
- 本体やリモコンを直射日光が当たる場所に設置・放置しないでください。
- 本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分ですと誤作動の原因となります。
- 本取付け・取扱い説明書内のイラストは、製品と一部異なる場合があります。
- 本製品を修理・点検依頼された場合、修理期間中は別商品の貸出し（代替品）などのサービスは行っておりません。
- 本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車両盗難、車上狙い、車両へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。
- 本リモコンは防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手での操作は避けてください。又、リモコン内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
- 本製品メインユニットの充電はテスト分の充電がされています。商品の状態（自然放電等）によっては、始めて使用する時に電池容量不足で作動しない場合がありますので始めて使用する時は必ずメインユニットを充電してください。
- 本製品はオープンカー等、密閉性の低い車両では使用できません。

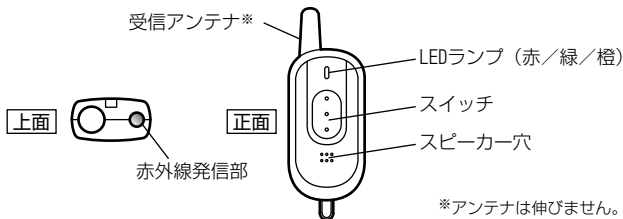
●備考 「守護神」は、商標登録第2291392号の表示許諾契約を締結しています。

各部の名称

■メインユニット (1 個)



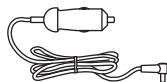
■リモコン (1 個)



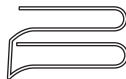
*アンテナは伸びません。

■付属品

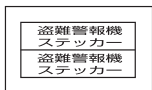
- メインユニット用バッテリー (1 個) ^{*1} □リモコン用ボタン電池 CR2032 (2個) ^{*1} □12V専用シガープラグコード(1個)



- セラミックスピーカー(コード長さ:約3m)(1個) □延長コード [約 2m] (1 本) □サンバイザーステー (1 個)



- ステッカー(1 シート) □コードクランプ(3個) □電池カバーセット(1個) □ネジ (2 個)



*車両の窓ガラス等に貼ってください。

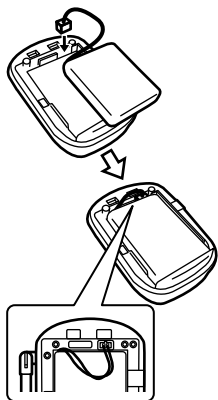
*1 メインユニット用バッテリーとリモコン用ボタン電池は消耗品です。

取付け

取付け前準備

1 メインユニットに付属のバッテリーを入れます。

1. バッテリーコネクタを接続して、ケース内にバッテリーコードをはさまないようにバッテリーを入れます。



※バッテリーコードが重なった状態でネジ締めすると電池カバーが浮いてしまいます。

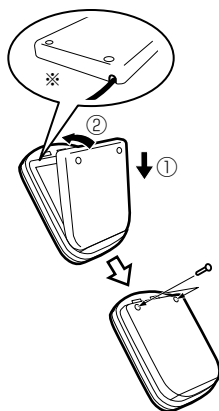
2. セラミックスピーカーのコネクタをメインユニットに差込み、コードガイドにセラミックスピーカーのコードを合わせます。



セラミック
スピーカー
コード

ガイド

3. 電池カバーの下側をはめて、矢印の方向に取付け、ネジを締めます。

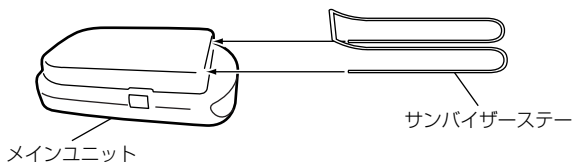


※電池カバーを取付ける時に、セラミックスピーカーのコード穴から、コードが出ていることを確認してください。

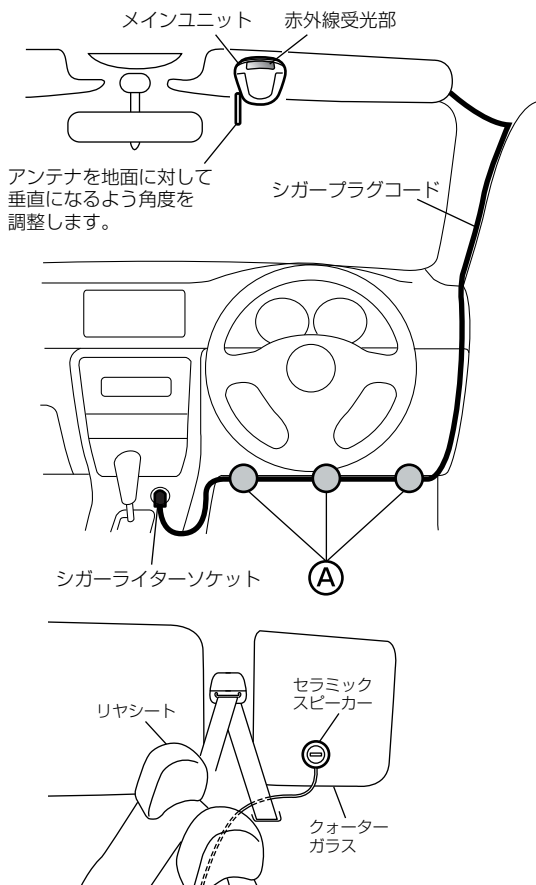
⚠ 注意

- ・ コネクタには極性がありますのでコネクタの凹凸に合わせてください。
- ・ バッテリーは消耗品です。充電を繰り返しても回復しない時はバッテリーの寿命です。指定の新しいバッテリーをお買い求めください。(バッテリーの寿命の目安は使用状況にもよりますが約2～3年です。)

2 メインユニットにサンバイザーステーを差込みます。



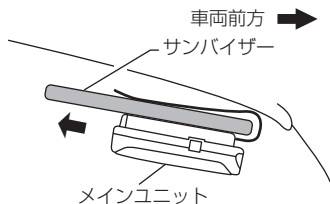
取付け全体図（参考例）



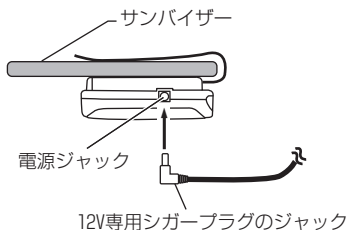
※ シガーソケットの無い車や、エンジンを停止してもシガーソケット電圧が0Vにならない車はオプションSS-063「電源配線ユニット」を使用して車両の配線に直接接続することができます。

取付け

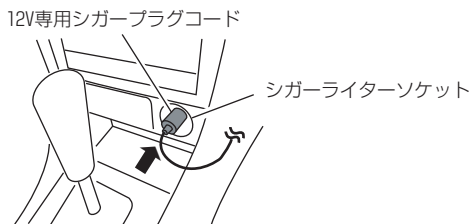
- 1** メインユニットを運転席側サンバイザーの全体図の位置に差込み、取付けます。
※メインユニットが落下しないように固定します。



- 2** 12V 専用シガープラグのジャック側をメインユニット電源ジャックに接続します。



- 3** 12V 専用シガープラグのプラグ側を車のシガーライターソケットに差込みます。

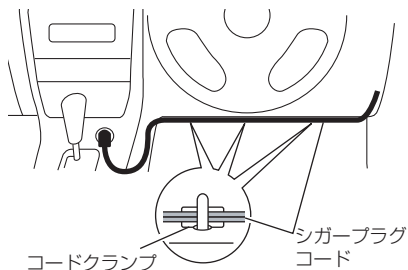


※ 12V 専用シガープラグコードを接触不良のないように奥まで入れます。

- 4** 接続した 12V 専用のシガープラグの配線を処理します。

シガープラグコードを車内側に挟み込むように収納し、付属のコードクランプで固定します。

取付け全体図 ④ (P.5参照)

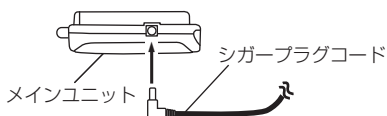


■初期充電について

ご使用前に必ず充電を行ってください。

工場出荷時には予備充電しかされていませんので、使用前には必ず充電を行ってください。

ご使用前にメインユニットに付属のバッテリーを装着後、付属のシガープラグコードを接続して車のエンジンをかけた状態で、約3時間以上充電してください。運転する時間が極端に短い場合は、必ず十分な充電を行ってください。



※ オプション SS-065 「AC100V 専用充電器」を使用すると、家庭用 (AC100V) コンセントでメインユニットを充電することができます。

■充電を開始すると

電源が入ると、メインユニットの監視 LED ランプが約 30 秒 全点灯してから消灯します。



監視LEDランプが約30秒 全点灯し、その後消灯します。

■連続待機時間について

本製品を十分に充電した時の連続待機時間^{*1}は約 240 時間^{*2}です。

^{*1} 無警報での監視状態の継続時間。

^{*2} 充電の使用状況によって異なります。

セラミックスピーカーの取付け

付属のセラミックスピーカーをガラスやボディに取付けることで、スピーカーが取付け面を共振させて車外へ警報音を響かせるようにしています。

⚠ 注意

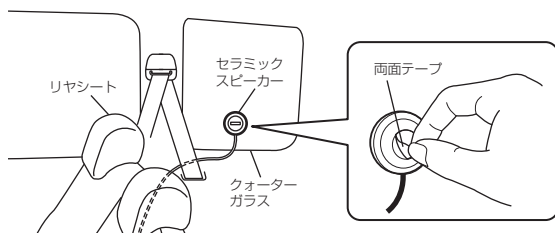
スピーカーカバー及びつまみ、ナットを外さずにセラミックスピーカーを取外すと、スピーカーが破損する恐れがあります。また、スピーカー自体を取外す時に、1点に力を加えないでください。スピーカーを少しでも曲げたりして取外すと、スピーカーが破損する恐れがあります。



両面テープをはがし、セラミックスピーカーを貼る場所のよごれをふき取ってからガラスまたはボディに取付けます。

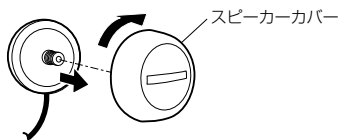
⚠ 注意

- ・ セラミックスピーカーのコード長さは最大約 5m (3m+ 延長コード 2m) です。コードが届く範囲内で、取付けてください。
- ・ 運転席より前方のガラス（フロントガラス等）には絶対に取付けないでください。

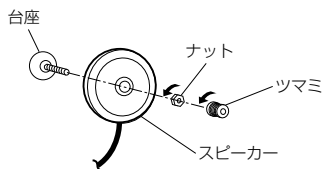


ガラスに取付けたセラミックスピーカーを取外す場合

- 1** スピーカーカバーを矢印の方向へ回しながら手前に引っ張り、スピーカーカバーを取外してください。



- 2** つまみ及びナットを矢印の方向へ回して取外し、スピーカーを台座から取外してください。



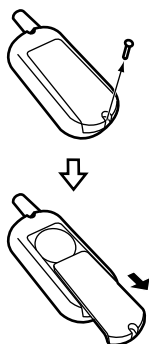
- 3** 台座をガラスから取外してください。

リモコンの使用方法

リモコンのご使用前に（工場出荷時は、電池はセットされていません）

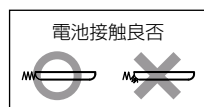
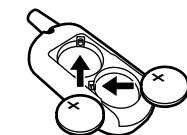
■リモコンに電池を入れる（電池交換のしかた）

1. 電池カバーのネジを外して、電池カバーを矢印の方向へスライドさせて外します。



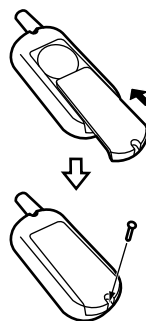
2. 古い電池を取り出し、新しい電池（CR2032 × 2 個）を+を上にして入れます。

※下図に従い、矢印方向に電池を入れてください。



※電池の上下を間違えて入れると故障する恐れがありますのでご注意ください。

3. 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて取付け、ネジを締めます。



⚠ 注意

- ・ 電池が少ない状態でスイッチを押すと“ブブ”と鳴り、操作できなくなります。
- ・ 指定電池（CR2032）以外は使用しないでください。
- ・ 電池寿命の目安は、新品の電池で1日4回の操作で約4.5ヵ月です。
※使用する条件によって異なります。
- ・ 工場出荷時はテスト用の電池を同梱していますので、電池自体が自然放電して電池寿命が約4.5ヵ月を下回る場合があります。
- ・ 電池交換の際は必ず2個共新しい電池と入れ替え願います。

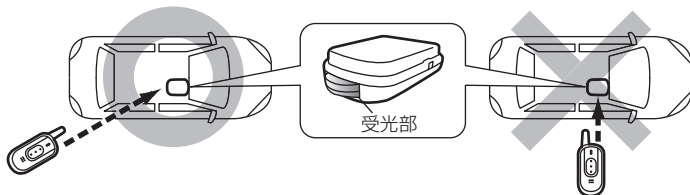
リモコンの使用方法

セキュリティスタートさせる



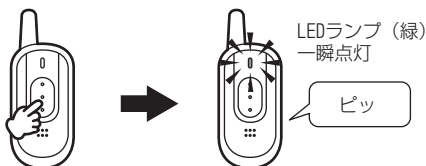
注意

リモコンの赤外線発信部をメインユニットの受光部に向けて操作してください。
[リモコン操作範囲：約 1m ~ 1.5m (取付ける車両によって距離は異なります。)]

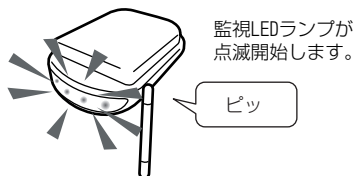


ドアバイザー等、赤外線を遮られたり、一部の UV ガラス装着車の赤外線を透過しにくい場合は送信距離が極端に短くなります。

- 1** 全てのウィンドーを閉めてからエンジンが停止した状態でドアを閉めて、上図のようにリモコン赤外線発信部をメインユニットに向けてスイッチを押すと、リモコンの LED (緑) が一瞬点灯し、“ピッ”と音が鳴ります。



- 2** リモコンからの信号をメインユニットが受信すると、メインユニットから“ピッ”と音が鳴り、約 10 秒間、タイマーキャンセル機能 (P.14 参照) が作動後、セキュリティスタート (監視状態) します。



メインユニットからの電波 (アンサーバック信号) をリモコンが受信すると、リモコンの LED ランプ (緑) が 3 回点滅し、OK のメロディが鳴ります。

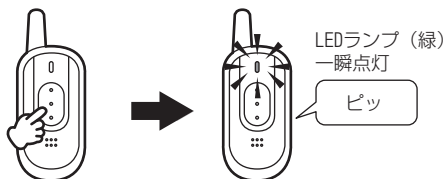
※メインユニットからの電波をリモコンが受信できない時は、リモコンの LED ランプ (赤) が 3 回点滅し、NG 音が鳴ります。

※メインユニットをサイレントモード (P.15 参照) に設定した場合、セラミックスピーカーとメインユニットからスタート/ストップ受信音は鳴りません。

リモコンの使用方法

セキュリティストップさせる

- 1** セキュリティ作動中に、リモコンのスイッチを押すと、リモコンのLEDランプ（緑）が一瞬点灯し“ピッ”と鳴ります。



- 2** リモコンからの信号をメインユニットが受信すると、メインユニットから“ピッピッ”と音が鳴り、セキュリティストップします。



メインユニットからの電波（アンサーバック信号）をリモコンが受信すると、リモコンのLEDランプ（緑）が3回点滅し、OKのメロディが鳴ります。

※メインユニットからの電波をリモコンが受信できない時は、リモコンのLEDランプ（赤）が3回点滅し、NG音が鳴ります。

⚠ 注意

リモコンでセキュリティストップする時は、必ずリモコン赤外線発信部を車内メインユニット赤外線受光部に向けて操作してください。[リモコン操作範囲: 約 1m ~ 1.5m (取付ける車両によって距離は異なります。)]

ドアバイザー等、赤外線を遮られたり、一部のUVガラス装着車の赤外線を透過しにくい場合は送信距離が極端に短くなります。

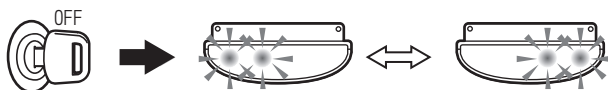
警報音を停止させる

メインユニットの警報作動中、リモコンスイッチを押すと警報音は停止します。また、シガープラグコードを接続している場合は、キーをACCにすると警報音が停止し、メインユニットから“ピッピッ”と音が鳴り、セキュリティストップします。

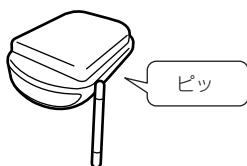
セキュリティオートスタート機能

セキュリティオートスタートのしかた（初期設定は ON）

- 1** 全てのウィンドーを閉めてからエンジン停止（キー OFF）させると、メインユニットの LED ランプが左右 2 個ずつ交互に点滅します。



- 2** エンジンを停止（キー OFF）してから、ドアを開めるか約 30 秒経過すると、メインユニットから“ピッ”と音が鳴り、セキュリティオートスタートします。




メインユニットからの電波（アンサーバック信号）をリモコンが受信するとリモコンの LED ランプ（緑）が 3 回点滅し、OK のメロディが鳴ります。



※メインユニットからの電波をリモコンが受信できない時は、リモコンの LED ランプ及びリモコンの音の反応はありません。

※ センサーが感知しない場合はキー OFF から約 30 秒後にセキュリティオートスタートします。

※ エアコンを外気（）に設定するとセンサーが作動しない場合があります。

■エンジンスターター（ターボタイマー）使用について

エンジンスターター及びターボタイマー取付け車の場合、エンジンが停止すると自動的にセキュリティオートスタートします。（シガープラグコード接続時のみ）

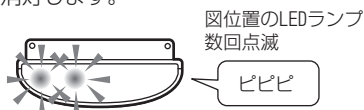
セキュリティオートスタート機能

セキュリティオートスタート設定を解除する場合

- 1** シガープラグコードを接続した状態で、キーを ACC にし、リモコンスイッチを押すと、リモコンの LED ランプ（緑）が一瞬点灯し、“ピッ”と鳴ります。



- 2** セキュリティオートスタート解除が完了すると、メインユニット監視 LED ランプが数回点滅し、“ピピピ”と鳴り、セキュリティオートスタート機能を解除します。セキュリティオートスタート機能解除後、メインユニット監視 LED ランプが約 30 秒以上全点灯してから消灯します。



メインユニットからの電波（アンサーバック信号）をリモコンが受信するとリモコンの LED ランプ（緑）が 3 回点滅し、OK のメロディが鳴ります。



※メインユニットからの電波をリモコンが受信できない時は、リモコンの LED ランプ（赤）が 3 回点滅し、NG 音が鳴ります。

■セキュリティオートスタート解除後、再度セキュリティオートスタート機能を設定 ON（許可）にする場合

下記操作を行うと、セキュリティオートスタートの設定が復帰します。

- 1** シガープラグコードを接続した状態で、キーを ACC にし、リモコンスイッチを押すと、リモコンの LED ランプ（緑）が一瞬点灯し、“ピッ”と鳴ります。

- 2** セキュリティオートスタートの設定が復帰すると、メインユニットの監視 LED ランプが数回点滅し、“ピー”と鳴り、その後、メインユニット監視 LED ランプが約 30 秒 全点灯してから消灯します。

メインユニットからの電波（アンサーバック信号）をリモコンが受信するとリモコンの LED ランプ（緑）が 3 回点滅し、OK のメロディが鳴ります。

※メインユニットからの電波をリモコンが受信できない時は、リモコンの LED ランプ（赤）が 3 回点滅し、NG 音が鳴ります。

警報について

■セキュリティ作動（監視状態）について

リモコン操作又は、オートスタート機能でセキュリティ作動中に、車両異常をWセンサー^{*1}（振動センサー、空気圧センサー）が検知すると、メインユニット内蔵スピーカーと付属のセラミックスピーカーから大音量の警報音が鳴り、不審者を威嚇します。また、メインユニットは特定小電力を採用していますので、異常信号を手元のリモコンに発信して、お知らせします。

^{*1} WセンサーについてはP.16、17参照。

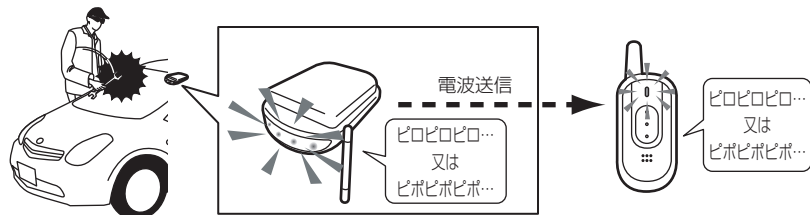
車両異常検知の状態	メインユニットの警報 ^{*2*} と監視LEDランプの光り方	リモコンの警報 ^{*3} とLEDランプの光り方
軽い衝撃が加わったとき (振動センサーP.16参照)	ピロピロピロ… (約5秒) 遅い点滅 (約5秒)	ピロピロピロ… (約3秒) 赤点滅
強い衝撃が加わったとき (振動センサーP.16参照)	ピロピロピロ… (約30秒) 早い点滅 (約30秒)	ピロピロピロ… (約10秒) 赤点滅
ドアを開けたとき (空気圧センサーP.17参照)	ピポピポピポ… (約30秒) 早い点滅 (約30秒)	ピポピポピポ… (約10秒) 橙点滅

^{*2} セラミックスピーカーはメインユニットと同じ鳴り方になります。

^{*3} 警報音はモードの設定によっては鳴りません。(P.15、18参照)

(セキュリティ作動例)

車両異常あり



■タイマーキャンセル機能について

タイマーキャンセル機能とは、リモコン又はセキュリティオートスタート操作を行ってから、一定時間経ってセキュリティスタートさせる機能です。なお、タイマーキャンセル中はWセンサーは作動しません。

- ・リモコンでのスタート→約10秒後にセキュリティスタート
- ・セキュリティオートスタート→約30秒後にセキュリティスタート



左右2個ずつのLEDランプが交互に点滅します。(セキュリティオートスタート機能を解除した場合、リモコンスタート時、タイマーキャンセル中のLEDランプは全点滅します。)

■環境モードの設定

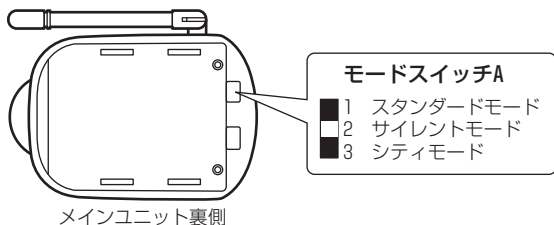
環境モードとは、駐車環境によって使い分けられることができる3つのセキュリティモードです。この3つのモードは、センサーのON/OFFや警報音の有無などの設定が車両の状態や駐車環境に合わせてモードを切替えることができます。

モードの種類	メインユニットとセラミックスピーカーの警報		リモコンアンサーバック警報
	振動センサー	空気圧センサー	
1. スタンダードモード	振動センサー	警報する	警報する
	空気圧センサー	警報する	
2. サイレントモード*	振動センサー	警報しない	警報する
	空気圧センサー	警報しない	
3. シティモード	振動センサー	警報しない	警報しない
	空気圧センサー	警報する	警報する

* メインユニットをサイレントモードに設定した場合、セラミックスピーカーとメインユニットからスタート/ストップ受信音は鳴りません。

■環境モードの設定方法

メインユニット裏側のモードスイッチ A を切替えて、環境モードを設定します。スイッチ切替え後、セキュリティスタートすることで有効になります。



W センサー

振動センサー

車への衝撃を検出します。

車の窓やボディに衝撃を検出した時に、アラーム音を鳴らしてメインユニットのLEDランプ点滅で威嚇します。



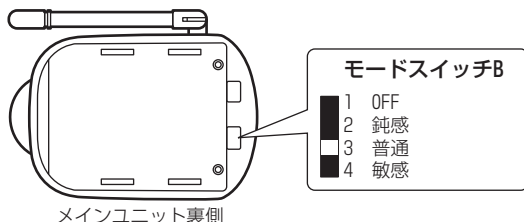
車両異常検知の状態	メインユニットの警報と監視LEDランプの光り方	リモコンの警報とLEDランプの光り方
軽い衝撃が加わったとき	ピロピロピロ… (約5秒) 遅い点滅 (約5秒)	ピロピロピロ… (約3秒) 赤点滅
強い衝撃が加わったとき	ピロピロピロ… (約30秒) 早い点滅 (約30秒)	ピロピロピロ… (約10秒) 赤点滅

⚠ 注意

- ・ 車両のボディサイズ・ボディの構造・取付け位置・振動を与える場所などによって、振動センサーの感度は大きく影響します。感度を高めに設定した場合、雷、花火、改造車のマフラー音、大型車両などの走行時の強い揺れ、強風等に振動センサーが反応してしまう場合がありますので、ご注意ください。
- ・ センサーの調整を行う上で、車両に振動を与える時に、振動の与え方によっては、ボディにキズやへこみを与えてしまう恐れがあります。車両に振動を与える時は気をつけてください。
- ・ 必ずリモコンでセキュリティを OFF にしてから、振動センサーの設定を行ってください。

■振動センサーの設定方法（初期設定は 3）

メインユニット裏側のモードスイッチ B を切替えて、振動センサーを設定します。振動を与え感度を調整してください。振動センサーが敏感な場合は 2 へ、鈍感な場合は 4 に切替えてください。



空気圧センサー

ドアを開けた時の、気圧の変化を検出します。
車のドアを開けた時にアラーム音を約 30 秒間鳴らして、メインユニットの LED で威嚇（早い点滅）します。




⚠ 注意

- ・ 車両のボディサイズ・ボディの構造・取付け位置・振動を与える場所などによって、振動センサーの感度は大きく影響します。感度を高めに設定した場合、雷、花火、改造車のマフラー音、大型車両などの走行時の強い揺れ、強風等に振動センサーが反応してしまう場合がありますので、ご注意ください。
- ・ 本製品のセキュリティスタートする時は必ず車両ウィンドーを全て閉めてください。ウィンドーが開いた状態では空気圧センサーが反応しません。

※ 取付けた時にサンバイザーが薄い車両は、メインユニットがずれたり落ちたりすることが考えられます。メインユニットが動かない様にあらかじめテープ等で固定する必要があります。

■エアコン設定について

一部の車両は、エアコンの設定が外気（）になっているとセンサーが反応しません。その場合は室内循環（）に設定してください。

リモコン警報音の設定方法

リモコンの操作音及び、警報音の有無の選択ができます。
(初期設定は警報音有)

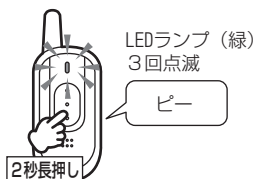
■リモコンの音を消す（操作音／警報音）

リモコンスイッチを2秒長押しします。
リモコンのLEDランプ（赤）が3回点滅し、“ピピピ”と鳴ります。



■リモコンの音を鳴らす（操作音／警報音）

リモコンスイッチを2秒長押しします。
リモコンのLEDランプ（緑）が3回点滅し、“ピー”と鳴ります。



⚠ 注意

リモコンをポケットやカバン等に入れた場合、スイッチが押されて設定が変わらないようご注意ください。

ローバッテリーサイン機能

■メインユニットの場合

メインユニット内蔵のバッテリー容量が少なくなると、バッテリー容量が少ないことをリモコンへ音と光でお知らせします。ローバッテリーサインが出た場合は、メインユニットの充電を行ってください。

- 1** メインユニット内蔵のバッテリーが少なくなると、メインユニットからリモコンへ30分おきに電波（ローバッテリー信号）を送信します。

⚠ 注意

リモコンが受信できない範囲では反応しません。

- 2** リモコンが受信すると、約15秒おきにリモコンLEDランプ（緑）→（赤）が一瞬点灯します。



LEDランプ（緑）→（赤）
一瞬点灯

- 3** 30分経過して、更にリモコンが電波（ローバッテリー信号）を受信すると約60秒おきに、リモコンLEDランプ（緑）→（赤）が一瞬点灯します。



LEDランプ（緑）→（赤）
一瞬点灯

※リモコンスイッチ操作するまで**3**の状態が続きます。

- 4** リモコンが電波（ローバッテリー信号）を受信してから最初にリモコンスイッチ操作を行うと、リモコンLEDランプ（赤）が点滅して“ブブブブ”と鳴り、メインユニット内蔵バッテリーの容量不足をお知らせします。

⚠ 注意

バッテリーは消耗品です。充電を繰り返しても回復しない時はバッテリーの寿命です。指定の新しいバッテリーをお買い求めください。（バッテリーの寿命の目安は使用状況にもよりますが約2～3年です。）

■リモコンの場合

リモコンの電池が少なくなるとスイッチ操作をしても“ブブ”と鳴り、リモコンLEDランプ（赤）→（緑）が一瞬点灯し、操作できなくなります。その場合は新しい電池（CR2032 × 2個）を購入願います。（P.9 参照）

ID コードの再登録及び追加登録

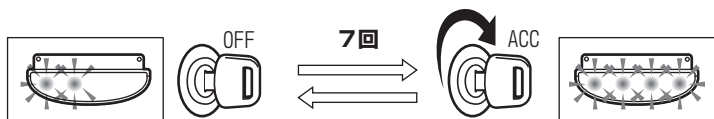
付属のリモコン以外に、もう 2 個の新しいリモコンを追加登録できます。
(最大全部で 3 個まで)

■ ID コード登録するには

※ 振動センサーを 1 に設定してから、下記の操作を行ってください。

1 キーを OFF の位置から ACC の位置まで回し、OFF の位置まで戻します。この操作を 7 回行います。

メインユニットからメロディが鳴り、監視 LED ランプが全点滅し、ID コード登録スタンバイ状態となります。



監視LEDランプ交互点滅
(オートスタート解除時は消灯)

監視LEDランプ
全点滅とメロディ音

※必ずキー ACC でメインユニット監視 LED ランプが全点灯してから、キーを OFF にして交互点滅 (オートスタート解除時は消灯) しているか確認しながら繰り返し行ってください。

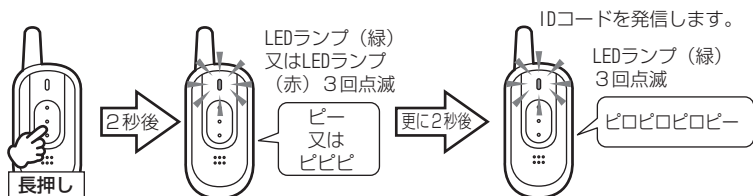
※スタンバイ状態になった後、約 30 秒経過するとエラー音が鳴り、スタンバイ状態が終了します。その場合は、もう一度 **1** の操作を行ってください。

※スタンバイ状態はキーを OFF の位置にしてください。

2 再登録又は、追加登録したいリモコンのリモコンスイッチを 4 秒以上長押しします。リモコン警報音の設定音 (P.18) が鳴り、メインユニットへ ID コードを送信します。

約 2 秒後にメインユニットからアンサーバックして完了です。

※選択した警報音によって、鳴り方と光り方が異なります。



3 登録が完了するとメインユニット監視 LED ランプが数回全点滅し、メロディが鳴ります。

※ 上記操作中にリモコンが電波を受信できない時は、リモコンの LED ランプ (赤) が点滅し、“ピロピロピロ” と NG 音が鳴ります。

※ 3 個登録されている場合、登録されている古いリモコンの ID コードから上書きされます。

※ さらに新しいリモコンを追加登録する時は、上記操作を再度行ってください。

※ 輸入車、プッシュスタート装着車などの ID コードが登録できない車の場合は、エンジン始動中にメインユニットの電源ジャックの抜き差しを 7 回行ってください。

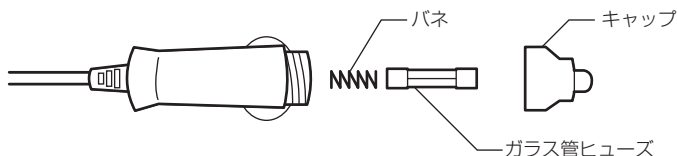
オプションについて

品番	品名	使用目的
SS-063	電源配線ユニット	電源をシガープラグ接続できない車両の場合に直接車両のヒューズから電源を接続できます。
SS-065	AC100V 専用充電器	家庭用 (AC100V) コンセントでメインユニットを充電することができます。

■ 12V 専用シガープラグコードについて

12V 専用シガープラグコードの内部には、ガラス管ヒューズが使用されています。ヒューズ切れの時は、指定の容量 (3A) のガラス管ヒューズと交換してください。

ヒューズの取外しは、キャップを左に回し外してください。



- ※ 必ず容量 3A の物をお使いください。
- ※ バネを無くさないようにご注意ください。

仕様

■メインユニット

技術基準	RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	426.05MHz 帯
定格入力電力	DC12V
動作温度範囲	- 10℃~+ 60℃
消費電流	待機時 1.5mA (平均)、警報時 140mA (最大)
充電電流	急速 150mA (最大)、トリクル 約 20mA
警報音圧	86dB/m (本体内蔵スピーカー)
内蔵電池	DC3.6V ニッケル水素電池
ケース寸法	55 (W) × 76.5 (L) × 24 (H)/mm (アンテナ除く)
ケース重量	85g (電池含む)

■リモコン

送信方式	赤外線
電池寿命	約 4.5 ヶ月 (1日4回 スタート・ストップ操作)
動作温度範囲	- 10℃~+ 60℃
使用電池	CR2032 (2個)
ケース寸法	31 (W) × 61 (L) × 15.5 (H)/mm (アンテナ除く)
ケース重量	25g (電池含む)

■セラミックスピーカー

ケース寸法	Φ 48 × 17 (H)/mm
ケース重量	15.5g (コード含まず)
コード長さ	約 3 m (付属品: 延長コード約 2 m)